

わかまつはら
栃木県宇都宮市立 若松原中学校eライブラリで自主学習を習慣化
～基礎基本の確実な定着をめざして～

若松原中学校では、令和4年度の学習面での重点目標として、「意欲的に取り組む授業」「学びに向かう集団作り」を掲げています。その取り組みの一つとして、毎週水曜日の6時間目に、25分間の「鍛錬タイム」という時間を設定しています。1週間ごとに教科を決め、eライブラリで5教科の問題に取り組んでいます。

今回は、鍛錬タイムでの取り組みの様子と、授業でのeライブラリの実践をご紹介します。

理解度にあった学習で自主学習を定着化

社会

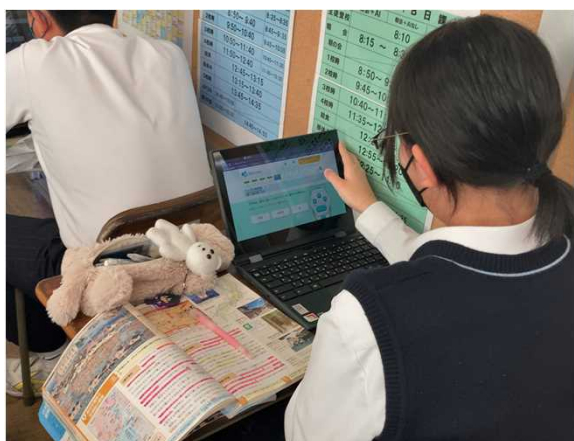
全校一斉に「鍛錬タイム」がスタート



チャイムが鳴ると、生徒はすぐにeライブラリを開き、**自分で教材や難易度を選んで学習に取り組めます**。基本問題を繰り返し解く生徒、挑戦問題にチャレンジする生徒など、難易度の選び方は様々です。また、**次々と問題に取り組む生徒もいれば、ヒントや解説教材にしっかり目を通しながら取り組む生徒もいました**。

自分の理解度にあった問題を、自分なりのペースで進めることができるため、一人ひとりが真剣に取り組んでいる様子が見られました。

eライブラリと教科書で内容を確認



POINT!

見目先生は、「**ただ問題を解いて、○や×がつくだけではもったいない**ので、教科書で確かめながら取り組もう」と生徒に指導をしているそうです。

間違えたところは教科書に線を引き、後日、同じ問題に取り組んだ際に、「ここがまだ理解できていないな」と生徒も自分でわかるようにしています。

問題を解いて終わりではなく、次の学習に生かすことができるよう、知識の定着を図っています。

今後の展望

確実な知識の習得と先生の働き方改革に向けて

鍛錬タイムが始まってから、**生徒の知識量が増えた**と感じています。復習として、前回の学習内容について問いかけをすることがあるのですが、「eライブラリで取り組んだのでわかります」という声を聞きます。社会科は特に、習得すべき知識量が多いですが、選択肢があることで、検討をつけながら様々な問題にチャレンジできます。**正解すれば自信がつかますし、間違えたとしても理解できていないことを自覚できるので、選択式の良さを感じています**。また、一教員としては、生徒の得意不得意を簡単に見つけることができるなどの点から、**働き方改革にもつながる**と考えます。



教諭
見目 達哉 先生

■ 授業では「時代のつながり」を意識

歴史

2年：産業の発達と幕府政治の動き



授業の終末でeライブラリを利用する際に、学習した内容の復習はもちろん、一つ前の時代の内容を復習することも生徒にお勧めしているそうです。

eライブラリは、教科書ページに対応しており、必要な教材をすぐに検索することができるので、「**一瞬で、今学習している内容も既習内容も取り組めるのが良い**」と見目先生。

「**時代を区切りながら学習するよりも、つながりを意識することで、今習っている内容がすんなり頭に入ってくるのではないか**」と仰っていました。

eライブラリ活用のねらい

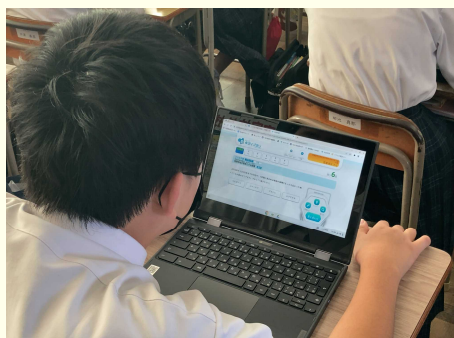
- 授業と自主学習をつなぎ、自主学習の習慣化と問題を繰り返し解くことで、**基礎基本の確かな定着**を図る。

先生の工夫

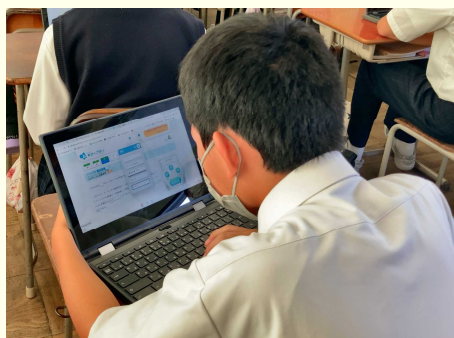
- 課題を配信する際には、学習状況やテスト範囲などとリンクさせることを意識している。生徒が自由に教材を選んで学習する日として設定することもある。
- 手が止まっている生徒がいた場合、画面をのぞき、一人一人に合った指導をしている。

生徒の様子

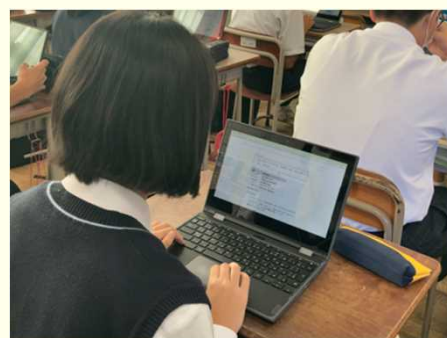
- 自分に合った難易度の問題や解き進め方を模索しながら、自主学習の方法を学んでいる。



▲ **基本**：熱帯地域の発達とその影響



▲ **挑戦**：ルネサンスと宗教改革



▲ **解説教材**：寛政の改革

今後の展望

生徒に、勉強（自主学習）を好きになってほしい

本校の生徒は、授業が好きな反面、家庭での自主学習、いわゆる「勉強」を苦手とする傾向があります。**基礎・基本の定着のためには、授業と自主学習を繋ぎ、繰り返し問題を解く時間を確保することが欠かせません。**自主学習の取組方を身に付けさせることを目的に、今年度からeライブラリを活用した「鍛錬タイム」を始めました。eライブラリを使い始めてから、**正答・誤答がすぐわかる上、短時間でたくさん問題を繰り返し解くことができるので、自主学習での活用にもつながっているようです。**eライブラリの学習を継続することで、基礎・基本を身に付け、**授業での「わかる」が増えること、勉強が「好き！」という生徒が増えること**を期待しています。



校長
大川 美子 先生